



# 西ノ京

学校教育目標 「心豊かで しなやかに 生きる力 の育成」

京都市立西ノ京中学校

学校だより ①

令和6年(2024)4月10日

校長 藤井 泉

## 学校教育目標

「心豊かで しなやかに 生きる力 の育成」

### 目指す生徒像

\*自ら求め、自ら学び、創造する生徒

\*人権を尊重し、他者と共に生きる生徒

\*心身ともに健康で、感性豊かな生徒

### 目指す学校像

\*保護者、教職員が自分の子を通わせたいと思える安心・

信頼の学校

\*在校生、卒業生、地域が誇りを持てる活気・活躍の学校

## ●○●○●○ 着任式 ●○●○●○

4月8日(月)に着任式を行い、新たに9名の教職員を迎えました。

子どもたちが夢や目標をもって、学習や様々な行事に主体的に取り組む中で、様々な課題を解決しながら、達成感や充実感を味わい、自信をつけて大きく成長できるよう、学校教育目標の達成に向けて、教職員一同、全力で取り組んで参る所存です。保護者の皆様におかれましては、今後とも本校教育に対しまして、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。



## ■□■□■□ 始業式 ■□■□■□

着任式に続き、令和6年度の始業式を行いました。今年度は、新入生135名を迎えて、2年生149名、3年生141名で、全校生徒数425名でのスタートとなります。

始業式では「在校生、卒業生、地域の方々が誇りの思える学校にしたい」という話しました。そのためには、西ノ京中学校を好きになって欲しいし、好きになるために、学校生活を楽しいものにして欲しいと願っています。

生徒一人ひとりが個性を発揮するとともに、それぞれの違いを認め合い、相手を尊重する気持ちを持つこと、支えてくれる周りの人たちに感謝の気持ちを持つことを意識し、チーム西ノ京で協力して物事に取り組む醍醐味や、やり遂げた後の達成感を味わう中で、人間関係を築き、絆を深めて欲しいと思います。そして、チーム西ノ京全員で感動を共有ていきたいと考えています。

ぜひ、保護者の皆様にもチーム西ノ京に加わっていただき、子どもたちが安心・安全に充実した学校生活を送れるよう、お力添えをお願いします。

西ノ京中学校 教職員一覧			
校長	藤井 泉	担任学年	担当部活動
教頭	西谷 浩一	クラス	吹奏楽
国語	林 瑞穂	1-5 担任	女子バスケット
国語	新 濱崎 七海	2-4 担任	サッカー
国語	新 村上 翔真	3-3 担任	女子ソフトテニス
社会	新家 誓	1-3 担任	サッカー
社会	小森 弘史	2-3・5副担	女子バスケット
社会	多田 大輝	3-5担任	柔道
数学	伊原 大志	2-1・2・4副担	美術
数学	辰巳 昌宏	3-6 担任	卓球
数学	山田 順子	3-4担任	男子バスケット
理科	須田 翔太	1-4担任	男子ソフトテニス
理科	森井 聖	2-2担任	茶華道
理科	飯田 由子	3-2・5副担	音楽
音楽	中田 真理子	1-2・3副担	吹奏楽
美術	若狭 愛	2-3担任	男子ソフトテニス
保体	吉田 裕	1-2担任	野球
保体	岡嶋 一博	2年学年付	女子バレー
保体	森 真代	3-2担任	陸上
技術	斎藤 猛	1年学年付	
家庭	黒川 美保子	2-2・4副担	卓球
英語	松村 順子	1-1・4・5副担	野球
英語	永井 麻里	2-5担任	美術
英語	新 吉川 伶未	3-1・4副担	女子ソフトテニス
英語	大河 純子	3-3・6副担	茶華道
育成	新 植松 洋子	3-1担任	コンピュータ&サイエンス
育成	山崎 雄大	1-1担任	柔道
育成	村上 いろは	2-1担任	男子バスケット
通級	小林 夢美子	LD等通級指導担当	コンピュータ&サイエンス 茶華道
社会	西島 佳宏	2年学年付	
養護	北原 美佳	保健室	陸上
事務	新 吉田 夏紗音	事務職員	
管理用務	池田 滋	管理用務員	
S.C.	井上 裕樹	毎週水曜日 スクールカウンセラー	
ALT	リベラヒメネス ヤレリス	外国語指導助手	
総育支援	駒井 三佐	総合育成支援員	
学校司書	新 市川 千香子	学校図書館司書	
校務支援	守谷 健志	校務支援員	
内科医	松野 博行		
眼科医	佐野 貴之		
耳鼻科医	新 桑田 文彦		
歯科医	木村 恒雄		
薬剤師	中嶋 佳代子		



西ノ京中  
マスコット  
ニシヤん

### ～ 西ノ京中学校の校章の由来～

ローマ字で書いた西ノ京の頭文字、アルファベットのNの文字を表しています。



# 祝 入学式

4月9日(火)、135名の新入生が、希望を胸に入学しました。ご入学おめでとうございます。

式辞の中で、新入生の皆さんには、「自分の命、存在を大切にするとともに、相手を思いやり尊重すること、仲間と協力しながら一つのことに取り組み、物事を成し遂げたときの達成感や喜びを味わうこと、自分を支えてくれる周りの人たちの存在に気付き、感謝の心を持って接することを大切にして欲しい」と伝えました。そして、目標をもって学校生活を送り、感謝の心を持って、多くの人と関わり、様々な活動を通して、意見を交わしながら、しっかり考え、時には悩み、課題を解決していく中で、大きく成長して欲しいと願っています。

在校生代表『歓迎の言葉』では、「はじめは勉強や部活動など様々な場面でつまずいてしまうこともあるかもしれません。そんなときは家族や仲間、先輩、教職員の方々に相談してみてください。全力でみなさんを支えていきます。」といった温かい言葉がかけられました。



そして、新入生代表生徒からは、『代表の言葉』の中で「私たちは、6年間の小学校生活を終えて、今、新たな第一歩を踏み出そうとしています。これから始まる中学校生活では、新しい出会いや小学校にはなかった学校行事などに胸が高まる一方で、大きな環境の変化や勉強と部活動の両立など少し不安もあり、悩んだり立ち止まつたりしてしまうかもしれません。そんな時は、教職員の方々や先輩方から、時には厳しく、時には優しく、良きご助言をいただき、仲間とともに支えあいながら、一歩ずつ前へ進んでいきたいと思います。」「私たち135名は、西ノ京中学校の生徒としての自覚をもち、実りある中学校生活を送っていきます。」という希望に満ちた力強い決意が述べられました。

A photograph showing a group of students in dark blue uniforms seated in rows, facing a stage. On the stage, there are several adults in formal attire, including suits and dresses. A Japanese flag and a crest are displayed on the stage. The setting appears to be a school hall or auditorium.



本校では定期的にいじめ対策員会を開き、いじめの未然防止やいじめの問題に対する組織的な対応に取り組んでいます。また、全ての教育活動を通して「生命を大切にし、人権を尊重する心」を育んでいきたいと考えています。

【令和6年度「いじめ対策委員会」メンバー】(※下線はチーフです。)

藤井 泉、西谷 浩一、吉田 裕、山崎 雄大、森井 聖、小森 弘史、林 瑞穂、  
北原 美佳、森 真代、井上 裕樹

★「就学援助」及び「総合育成支援教育就学奨励費」制度のお知らせ★

京都市では、お子さんが市立小・中学校へ就学するにあたり、経済的な理由によりお困りの保護者に対し、学用品費や給食費などを援助する就学援助制度を設けています。

なお、市立小学校卒業時に就学援助の認定を受けていた場合、新規の申込は不要です。継続の案内は別途お知らせします。

※ 様々なご事情により家計が急変する等、経済的な理由でお困りの場合は、収入状況の悪化がわかるものをご提出いただくこと等により認定できる場合がある臨時措置を設けています。

まずは、学校にご相談ください。

また、育成学級に在籍しているお子さんのご家庭や、普通学級に在籍し、総合支援学校に通う程度の障害があるお子さんのご家庭に対し、学用品費等の一部を補助する総合育成支援教育就学奨励費制度も設けています。

申込みの手続きやご相談・ご質問がある方は学校までお申し出ください。

